

記録用紙

確認者	試合責任者	主審	記録責任者
	塚越 充浩	吉澤 教智	吉田 賢二

大会名	第60回岡山県高等学校総合体育大会サッカー競技 兼令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技岡山県予選		第1日	1回戦	令和3年5月30日 12:30	試合時間	70分 延長 (20分)
会場	就実祇園グラウンド	天候	晴・曇・雨	風	無・弱・強	土	良好・普通・不良
観衆	無観客	気温		湿度			
試合責任者	塚越 充浩	主審	吉澤 教智 (岡山県協会)	副審	中山 智樹 (岡山県協会)	副審	尾畑 篤司 (岡山県協会)
第4	須田 二三明 (岡山県協会)	記録者	中塚 啓太 (倉敷高校)				
(チーム名)	備中 地区			(チーム名)			
倉敷南 高校			2	PK	3	美作 地区	
kick off (延長kick off)						津山工業 高校	
kick off (延長kick off)						kick off (延長kick off)	

交代 No.	時間	シュート数			学年	選手名	番号	先	先	番号	選手名	学年	シュート数			交代 No.	時間	
		延長	後半	前半									前半	後半	延長			
					2	尾崎 優成	35	GK	31	岩本 涼雅	3							
					2	嶋田 純士	4	DF	21	瀧元 奏太	3				3	62分		
					2	田辺 秀真	9		44	柴田 紀希	3							
					2	井本 航汰	26		45	武田 拓巳	3							
					2	奥佐 庸太	27		56	牧野 陽平	3							
7	41分			1	3	石井 翔	10	MF	7	吉原 稀久	3							
					1	北野 敦士	22		10	坂口 真樹	2				54	62分		
					1	森田 優翼	29		14	岡西 晴汰	3							
					2	藤村 悠生	38		50	上布 洋	3							
18	54分			1	2	山上 淳矢	47	FW	57	玉田 翔馬	3				11	47分		
					2	三浦 大和	11		15	宗森 裕亮	3							
交代要員																		
					1	小野 匡徳	1		3	梶原 純真	2							
					2	浦 弘成	7		4	平山 達也	2							
					1	田中 達弥	17		8	光永 頼大	2							
					1	二宮 悠太郎	18		9	池上 京介	2							
					2	長谷川 蓮斗	33		11	植木 歩	2							
					2	渡邊 浩月	36		18	森 航 雅	3							
					2	磯山 楓汰	40		41	中村 航	3							
					2	長岡 隼磨	57		54	水島 元哉	3							
					2	藤原 神	99		91	川西 陽斗	3							
チーム合計																		
													8	4				
													7	6				12

No.	氏名	分	理由	計	延長	後半	前半	前半	後半	延長	計	No.	氏名	分	理由
警・退				10							6	警・退			
警・退				1							7	警・退			
警・退				4		3					6	警・退			
警・退				1							7	警・退			
警・退											1	警・退			
警・退											7	警・退			

理由 不正:著しく不正な行為、乱暴:乱暴な行為、つば:つばを吐く行為、 阻止(手):手による決定機の阻止、
阻止(他):手以外による決定機の阻止、 暴言:攻撃的侮辱的な言動、警告2:2度目の警告、反スポ:反スポーツ的行為、
ラフ:ラフプレー、 異議:判定に異議を示す行為、繰返:繰返し違反する行為、 遅延:プレーの再開を遅らせる行為、
距離:規定の距離を守らない、入:未承認でピッチに入る、去:未承認でピッチから出る

時間	得点チーム	得点者名	アシスト者名	得点経過
1分	津山工業	オウンゴール		
3分	津山工業	坂口真樹		中GKはじき⑩S 5m
14分	倉敷南	三浦大和	石井翔	右⑩~→中⑩S 7m
25分	津山工業	宗森裕亮	岡西晴汰	右⑩~中④→⑩S 6m
28分	倉敷南	石井翔		中②S GKはじき⑩~S 1m

記入例 ~:ドリブル、→:ゴロのパス、↑:浮球のパス、×:混戦、H:ヘディング、S:シュート、
右:右サイド、左:左サイド、中:中央

戦評者名 (穂山 健太) (フルネームで記入) 勤務又は所属 (岡山城東高校)
津山工業は、1-4-4-2でテンポ良くボールを前にはミビタイルエリアに侵入する。相手ペナルティエリア付近でテクニックを發揮し、フィニッシュの回数を増やして得点を狙う。さらに相手のDFライン背後をシンプルに使い効率高くゴールへせまる。倉敷南は4-1-4-1で後方から丁寧にビルドアップし空いたスペースをチームで認知し再現性のある攻撃を繰り返す。両チームともに守備に課題を残す前半となった。ハーフタイムに修正が入り、後半はお互いにシュート数が減った。